



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月8日

上場会社名 株式会社東栄リーフアーライン 上場取引所 東
 コード番号 9133 URL <http://www.toeireefer.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河合 弘文
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 本田 英樹 TEL 03-5476-2085
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績 (平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
29年3月期第1四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,719	22.3	△1	—	△23	—	△41	—
	1,405	△40.0	56	△38.0	76	△6.0	79	69.2

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △66百万円 (−%) 28年3月期第1四半期 81百万円 (52.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
		円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△7.11	—	—
28年3月期第1四半期	13.65	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
29年3月期第1四半期	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期	11,835	4,373	36.9	752.75
	12,140	4,509	37.1	776.14

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 4,373百万円 28年3月期 4,509百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
29年3月期(予想)		0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
第2四半期(累計)	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,300	9.4	20	△71.0	40	△58.4	50	△44.9	8.60
	7,600	4.9	600	18.8	600	9.8	450	4.9	77.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	6,050,000株	28年3月期	6,050,000株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	239,756株	28年3月期	239,756株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	5,810,244株	28年3月期1Q	5,810,316株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
(4) 追加情報.....	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(2) 四半期連結貸借対照表	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用情勢は引き続き改善傾向にあるものの、個人消費は力強さを欠き、また株安・円高などによる企業業績への影響懸念などもあって景気回復には弱さが見られました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の売上は貿易事業においてまぐろ類の販売数量増大が寄与し、17億1千9百万円（前期比3億1千3百万円 22.3%増）となったものの、船舶の定期修繕集中により営業損失1百万円（前期営業利益は5千6百万円）、経常損失2千3百万円（前期経常利益は7千6百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失4千1百万円（前期親会社株主に帰属する四半期純利益は7千9百万円）となりました。

前年同期と比べて大きく減益となっておりますが、船舶の定期修繕集中も含めて計画通りに進捗しており、また今後の運搬数量等につきましても当初計画の範囲内で推移する見込みです。

当第1四半期連結累計期間と前第1四半期連結累計期間の連結業績比較は以下のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	増減率 (%)
売 上 高 (百万円)	1,405	1,719	22.3
営 業 利 益	56	△1	—
経 常 利 益	76	△23	—
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	79	△41	—

また、セグメントごとの業績は以下のとおりです。

セグメント(百万円)		前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	増減率 (%)
海運事業	売 上 高	580	620	6.8
	セグメント利益	91	6	△93.3
貿易事業	売 上 高	300	711	137.0
	セグメント利益	7	30	329.2
洋上給油事業	売 上 高	374	246	△34.1
	セグメント利益	17	19	13.5
船舶貸渡事業	売 上 高	150	140	△6.2
	セグメント利益	17	13	△23.8

① 海運事業

海運事業につきましては、新造船豪太丸増隻により前年同期と比べ増収となりました。原価は燃料価格下落などの寄与があったものの船舶の定期修繕集中により、前年同期と比べ減益となりました。

② 貿易事業

貿易事業につきましては、まぐろ類の販売数量増大が寄与するとともに、台湾子会社事業強化策の着実な進捗により外部売上・利益ともに増加し、前年同期と比べ増収増益となりました。

③ 洋上給油事業

洋上給油事業につきましては、前年同期と比べて販売数量はほぼ同量であったものの、燃料油価格下落に伴う販売単価低下により減収となりました。セグメント利益につきましては徹底したコスト削減の結果、前年同期と比べ僅かではありますが、増益となりました。

④ 船舶貸渡事業

船舶貸渡事業につきましては、円高の影響により前年同期と比べ減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億4百万円減少し、118億3千5百万円となりました。このうち流動資産は前連結会計年度末に比べ2億4千8百万円減少し、57億7千1百万円となりました。これは、その他に含まれる短期貸付金3億5千7百万円、立替金3億2百万円などが増加したものの、現金及び預金8億2千5百万円、商品及び製品2億8千万円などが減少したことによるものです。固定資産は前連結会計年度末に比べ5千6百万円減少し、60億6千4百万円となりました。これは、その他に含まれる長期貸付金9千万円などが増加したものの、船舶が減価償却により1億4千3百万円減少したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ1億6千8百万円減少し、74億6千2百万円となりました。これは、流動負債で海運業未払金及び買掛金1億8千7百万円などが増加し、固定負債で長期借入金2億8千2百万円などが減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億3千5百万円減少し、43億7千3百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失4千1百万円の計上と前期末の配当金6千9百万円の支払いにより利益剰余金が1億1千1百万円減少したことなどによるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末より0.2ポイント減少し36.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期連結累計期間における業績は計画どおりに推移いたしました。

平成29年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成28年5月12日に公表いたしました数値に変更ありません。配当予想につきましても期末12円配当に変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
海運業収益	730,494	761,027
海運業費用	563,799	681,368
海運業利益	166,695	79,659
貿易業収益	300,183	711,483
貿易業費用	263,350	656,354
貿易業利益	36,833	55,128
洋上給油事業収益	374,848	246,903
洋上給油事業費用	356,821	227,008
洋上給油事業利益	18,027	19,895
売上総利益	221,555	154,683
販売費及び一般管理費	165,004	156,569
営業利益又は営業損失 (△)	56,551	△1,885
営業外収益		
受取利息	25,881	18,170
受取配当金	2,284	1,502
為替差益	4,449	—
その他	1,525	4,004
営業外収益合計	34,141	23,677
営業外費用		
支払利息	13,270	13,669
為替差損	—	28,635
その他	980	3,045
営業外費用合計	14,250	45,349
経常利益又は経常損失 (△)	76,441	△23,557
特別利益		
投資有価証券売却益	25,069	—
特別利益合計	25,069	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	101,511	△23,557
法人税、住民税及び事業税	867	2,360
法人税等調整額	21,287	15,428
法人税等合計	22,154	17,789
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	79,357	△41,347
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	79,357	△41,347

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失（△）	79,357	△41,347
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,124	△5,652
繰延ヘッジ損益	9,811	△11,438
為替換算調整勘定	1,463	△7,751
その他の包括利益合計	2,150	△24,842
四半期包括利益	81,507	△66,189
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	81,507	△66,189
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(2) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	2,319,415	1,493,678
受取手形・海運業未収金及び売掛金	1,063,611	1,048,137
商品及び製品	471,754	191,628
原材料及び貯蔵品	193,907	215,499
その他	1,973,209	2,825,031
貸倒引当金	△1,734	△2,177
流动資産合計	6,020,163	5,771,798
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	5,009,181	4,865,961
その他（純額）	13,661	12,489
有形固定資産合計	5,022,842	4,878,450
無形固定資産	29,749	26,423
投資その他の資産		
その他	1,068,004	1,159,742
貸倒引当金	△482	△546
投資その他の資産合計	1,067,521	1,159,196
固定資産合計	6,120,114	6,064,070
資産合計	12,140,277	11,835,868

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
海運業未払金及び買掛金	639,048	826,562
短期借入金	1,219,374	1,166,434
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
未払法人税等	34,749	11,077
賞与引当金	75,694	11,749
役員賞与引当金	40,000	—
その他	466,295	553,654
流動負債合計	2,505,161	2,599,477
固定負債		
社債	20,000	10,000
長期借入金	4,869,719	4,587,448
特別修繕引当金	21,033	33,617
退職給付に係る負債	148,805	149,440
その他	65,975	82,215
固定負債合計	5,125,533	4,862,721
負債合計	7,630,695	7,462,198
純資産の部		
株主資本		
資本金	890,000	890,000
資本剰余金	961,593	961,593
利益剰余金	2,669,636	2,558,566
自己株式	△49,181	△49,181
株主資本合計	4,472,047	4,360,977
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,509	31,856
繰延ヘッジ損益	△6,397	△17,835
為替換算調整勘定	6,422	△1,328
その他の包括利益累計額合計	37,534	12,692
純資産合計	4,509,582	4,373,669
負債純資産合計	12,140,277	11,835,868

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	海運事業	貿易事業	洋上給油 事業	船舶貸渡 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	580,229	300,183	374,848	150,265	1,405,526	—	1,405,526
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	580,229	300,183	374,848	150,265	1,405,526	—	1,405,526
セグメント利益	91,047	7,133	17,123	17,679	132,983	(76,432)	56,551

(注) 1. セグメント利益の調整額76,432千円には、セグメント間取引消去4,650千円、各報告セグメントに配分していない全社費用81,082千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	海運事業	貿易事業	洋上給油 事業	船舶貸渡 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	620,148	711,483	246,903	140,879	1,719,414	—	1,719,414
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	620,148	711,483	246,903	140,879	1,719,414	—	1,719,414
セグメント利益 又は損失(△)	6,010	30,623	19,438	13,465	69,537	(71,423)	△1,885

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額71,423千円には、セグメント間取引消去4,650千円、各報告セグメントに配分していない全社費用76,073千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。